

Linuxコマンド簡易リファレンス

基本コマンド	説明
cd	ユーザーのホームディレクトリに移動する
cd /var/www/html	/var/www/html ディレクトリに移動する
cd -	一つ前のディレクトリに移動する
cd ..	一つ上のディレクトリに移動する
pwd	カレントディレクトリのパスを表示する
man passwd	passwdコマンドのマニュアルを表示する
man 5 passwd	/etc/passwdファイルのマニュアルを表示する
apropos ext4	マニュアルの1行説明に「ext4」が含まれるマニュアル一覧を表示する
exit	ログアウトする。シェルを終了する
date	現在の日時を表示する
date "+%m/%d %H:%M:%S"	現在の日時を「月/日 時:分:秒」で表示する
su	rootユーザーになる（環境は元のまま）。終了はexit
su -	rootユーザーになる（環境はrootでのログインと同じ）
su - smile	smileユーザーになる（環境はsmileでのログインと同じ）
sudo /sbin/shutdown -r now	許可されたユーザーが管理者権限でshutdownコマンドを実行する
sudo -s	許可されたユーザーがrootユーザーになる（環境は元のまま）
sudo -i	許可されたユーザーがrootユーザーになる（rootでのログイン環境）
ファイルおよびディレクトリ操作コマンド	説明
ls	カレントディレクトリのファイル一覧を表示する
ls -l	カレントディレクトリの詳細なファイル一覧を表示する
ls -A data	data ディレクトリ内のファイルを隠しファイルも含めて表示する
cp nginx.conf nginx.conf.org	nginx.conf ファイルを nginx.conf.org ファイルとしてコピーする
cp *.log logs	拡張子が .log のファイルを logs ディレクトリにコピーする
cp -r public /tmp	public ディレクトリを /tmp ディレクトリ以下にコピーする
mv samplefile /tmp	samplefileファイルを/tmpディレクトリ以下にコピーする
mv oldfile newfile	oldfileファイルの名前をnewfileにリネームする
rm oldfile	oldfileファイルを削除する
mkdir temp	tempディレクトリを作成する
mkdir -p top/sub	top/subディレクトリを作成する
rm -rf temp	tempディレクトリを削除する
ln -s fileA symA	fileAファイルのシンボリックリンクsymAを作成する
file samplefile	samplefileファイルがどんなファイルかを表示する
type cmd	cmdコマンドの種類を表示する
find -name "*.rb"	カレントディレクトリ以下から拡張子がrbのファイルを検索する
find -name "*.rb" -mtime -30	上と同じ条件で30分以内に変更のあったファイルを検索する
find /tmp -type f -user violet	/tmpディレクトリから所有者がvioletのファイルを検索する
touch samplefile	空のファイル samplefile を作成する
touch -t 201901230900 samplefile	samplefile のタイムスタンプを 2019年1月23日9時0分にする
ファイル閲覧コマンド	説明
cat samplefile	samplefileファイルの内容を出力する
less samplefile	samplefileファイルをページ単位で閲覧する
nano samplefile	nanoエディタで編集する
vim samplefile	vimエディタで編集する
パーミッション管理コマンド	説明
chmod 644 samplefile	samplefileファイルのアクセス権を644に設定する
chmod a+x samplefile	samplefileファイルのアクセス権に実行権を追加する
chmod -R a-w logs	logsディレクトリまるごと書き込み権を削除する
# chown apache index.html	index.htmlファイルの所有者をapacheとする
# chown -R web:web /home/www/html	/home/www/html以下の所有者所有グループをすべてwebに設定する
ファイル圧縮展開コマンド	説明
gzip sample	sampleファイルをgzipで圧縮する
gunzip sample.gz	sample.gzファイルを解凍する
bzip2 sample	sampleファイルをbzip2で圧縮する
bunzip2 sample.bz2	sample.bz2ファイルを解凍する
xz sample	sampleファイルをxz (7zip) で圧縮する
unxz sample.xz	sample.xzファイルを解凍する
zip sample.zip sample	sampleファイルをzipで圧縮する
unzip sample.zip	sample.zipファイルを解凍する
tar czf data.tar.gz data	dataディレクトリの圧縮アーカイブをdata.tar.gzとして作成する

tar xzf data.tar.gz	圧縮アーカイブdata.tar.gzを展開する
tar cjf data.tar.bz2 data	dataディレクトリの圧縮アーカイブをdata.tar.bz2として作成する
tar xjf data.tar.bz2	圧縮アーカイブdata.tar.bz2を展開する
tar cJf data.tar.xz data	dataディレクトリの圧縮アーカイブをdata.tar.xzとして作成する
tar xJf data.tar.xz	圧縮アーカイブdata.tar.xzを展開する
テキスト処理コマンド	
grep violet access.log	access.logファイルの中から文字列「violet」が含まれる行を抜き出して表示する
head -5 Makefile	Makefileファイルの先頭5行を表示する
tail -20 messages	messagesファイルの末尾20行を表示する
tail -f /var/log/messages	/var/log/messagesファイルの末尾を表示し続ける
head /etc/passwd	/etc/passwdファイルの先頭10行を表示する
head -20 /etc/passwd	/etc/passwdファイルの先頭20行を表示する
tail /etc/passwd	/etc/passwdファイルの末尾10行を表示する
tail -20 /etc/passwd	/etc/passwdファイルの末尾20行を表示する
tail /var/log/messages	/var/log/messagesファイルの末尾を表示し続ける (ログ監視)
rpm -qa sort	インストール済みパッケージ名をソートして表示する
iconv -f sjis -t utf8 sample.txt	ShiftJISで書かれたsample.txtファイルをUTF-8に変換して出力する
wc sample	sampleファイルのバイト数、単語数、行数を表示する
rpm -qa wc -l	インストール済みパッケージの数を数える
bash組み込みコマンド	
alias	設定済みのエイリアスを表示する
alias ll='ls -l'	「ls -l」のエイリアス「ll」を設定する
unalias ll	エイリアス「ll」を削除する
echo \$PATH	変数PATHの内容を表示する
export PATH	変数PATHを環境変数にする
export LANG=C	変数LANGに値「C」を設定して環境変数にする (英語環境)
export PATH=\$PATH:/opt/bin	変数PATHに「/opt/bin」を追加して環境変数にする
printenv	環境変数を表示する
set	シェル変数と環境変数を表示する
type echo	echoが外部コマンドか組み込みコマンドか、エイリアスか関数かを調べる
history	コマンド履歴を表示する
history -c	コマンド履歴を削除する
ps aux > ps.log	psコマンドの実行結果をps.logに保存する (出力リダイレクト)
ps aux >> ps.log	psコマンドの実行結果をps.logに追記する (追記出力リダイレクト)
ps aux tee ps.log	psコマンドの実行結果をps.logに保存するとともに画面上に表示する (パイプ)
ネットワークコマンド	
telnet host.example.com 80	host.example.comの80番ポートに接続する
ssh host.example.com	host.example.comにSSHで接続する
ssh reika@host.example.com	host.example.comにreikaユーザーとしてSSHで接続する
ssh -p 10022 host.example.com	host.example.comの10022番ポートにSSHで接続する
ssh-keygen -t ecdsa	SSHの鍵ペアをECDSAで作成する
ssh-keygen -p	SSHのパスフレーズを変更する
ssh-keygen -l -t ecdsa	ECDSA鍵のフィンガープリントを表示する
lftp host.example.com	host.example.comにFTPで接続する
mail happy@example.com	happy@example.com宛のメールを作成する
df -h mail -s disk_usage admin@example.com	dfコマンドの実行結果を、admin@example.com宛にタイトル「disk_usage」でメール送信する
scp sample host.example.com:	sampleファイルをhost.example.comのホームディレクトリ内にコピーする
scp happy@host.example.com:/tmp/sample .	happyユーザーとしてhost.example.comに接続し、/tmp/sampleファイルをローカルディレクトリにリモートコピーする
ssh-agent bash	ssh-agentでbashを利用する
ssh-add	ssh-agentで利用する秘密鍵のパスフレーズを入力する
wget http://www.example.com/sample	http://www.example.com/sampleファイルをダウンロードする
wget -r http://www.example.com/main	http://www.example.com/mainディレクトリ以下をダウンロードする
ネットワーク管理コマンド	
dig www.example.com	www.example.comのIPアドレスをDNSサーバに問い合わせる
dig -x 192.168.1.30	192.168.1.30に対応するホスト名をDNSサーバに問い合わせる
dig example.com mx	example.comドメインのメールサーバ (MXレコード) を調べる
host www.example.com	www.example.comのIPアドレスをDNSサーバに問い合わせる
host 192.168.1.30	192.168.1.30に対応するホスト名をDNSサーバに問い合わせる
host -t mx example.com	example.comドメインのメールサーバ (MXレコード) を調べる
ip addr show	IPアドレスなどネットワークインターフェースの情報を表示する
# ip link set eth1 up	ネットワークインターフェースeth1を有効にする
# ip link set eth1 down	ネットワークインターフェースeth1を無効にする
ss -at	開いているTCPポートを表示する

	ss -atun	開いているTCP/UDPポートを、名前解決せず表示する
#	ss -atp	開いているTCPポートとプロセス名を表示する
#	ntpdate pool.ntp.org	NTPを使ってシステムクロックを正確に合わせる
#	ntpq -p	NTPの問い合わせ状況を確認する
	ping host.example.com	host.example.comの疎通確認をする終了はCtrl+C
	ping -c 4 host.example.com	host.example.comの疎通確認をするICMPパケットを4回送ったら終了する
	ip route show	ルーティングテーブルを表示する
#	ip route add default via 192.168.11.1	ルーティングテーブルにデフォルトゲートウェイを追加する
#	traceroute host.example.com	host.example.comまでに通過するルータを表示する
#	iptables -L	パケットフィルタリングの設定を表示する (IPv4)
#	ip6tables -L	パケットフィルタリングの設定を表示する (IPv6)
	システム管理コマンド	説明
	crontab -e	スケジュールを登録する
	crontab -l	登録済みのスケジュールを表示する
	crontab -r	登録済みのスケジュールをすべて削除する
	systemctl list-unit-files --type=service	サービスの自動起動設定を表示する
#	systemctl enable apache2	システム起動時にapache2サービスを自動的に起動する
#	systemctl disable apache2	システム起動時にapache2サービスを自動的に起動しないようにする
#	systemctl start apache2	apache2サービスを起動する
#	systemctl restart apache2	apache2サービスを再起動する
#	systemctl is-active apache2	apache2サービスの状態を確認する
#	systemctl stop apache2	apache2サービスを終了する
#	date 012309002019	システムクロックを2019年1月23日9時00分にセットする
	lsmod	ロードされているカーネルモジュール (ドライバ) を表示する
#	lsof /var/log/messages	/var/log/messagesファイルを開いているプロセスを表示する
#	lsof -c rsyslogd	rsyslogdプロセスが開いているファイルを表示する
#	lsof -i:631	631番ポートを開いているプロセスを表示する
	modinfo sr_mod	sr_modカーネルモジュールの情報を表示する
#	modprobe sr_mod	sr_modモジュールをロードする
#	modprobe -r sr_mod	sr_modモジュールをアンロードする
#	shutdown -r now	ただちにシステムを再起動する
#	shutdown -h +10	10分後にシステムをシャットダウンする
#	shutdown -r 23:00	23時にシステムを再起動する
#	shutdown -c	シャットダウンの予定をキャンセルする
	uname -a	システム情報を表示する
	lspci	PCIデバイスの情報を表示する
	lsusb	USBデバイスの情報を表示する
	dmesg	カーネルの出力メッセージを表示する (起動メッセージなど)
	ldd /bin/zsh	/bin/zshの実行に必要な共有ライブラリを表示する
	free -m	メモリの使用状況をMバイト単位で表示する
	free -h	メモリの使用状況を適当な単位で表示する
#	timedatectl set-time "2019-01-23 09:00:00"	システムクロックを 2019年1月23日9時0分にする
	ユーザー管理コマンド	説明
	id	自分のUID、プライマリグループ、所属グループを表示する
	id violet	violetユーザーのUID、プライマリグループ、所属グループを表示する
	groups	所属しているグループを表示する
	last	過去のログイン・ログアウト履歴を表示する
	last violet	violetユーザーのログイン・ログアウト履歴を表示する
#	lastlog	ユーザーごとの最終ログイン日時を一覧表示する
#	lastlog -t 7	最近7日以内の最終ログイン日時を表示する
	users	ログイン中のユーザーを表示する
#	useradd violet	violetユーザーを追加する (CentOS)
#	adduser violet	violetユーザーを追加しパスワードを設定する (Ubuntu)
#	userdel joker	jokerユーザーを削除する
#	userdel -r joker	jokerユーザーをホームディレクトリごと削除する
#	groupadd develop	developグループを追加する
#	groupdel develop	developグループを削除する
	passwd	自身のパスワードを変更する
#	passwd violet	violetユーザーのパスワードを設定する
#	chage violet	violetユーザーのパスワード期限などを変更する
#	visudo	sudoコマンドを扱えるユーザーを管理する
	w	ログイン中のユーザーとユーザーが実行しているコマンドを表示する
	who	現在ログインしているユーザーを表示する

ファイルシステム管理コマンド	説明
df	ファイルシステムごとのディスク使用量を表示する
df -H	見やすい単位で表示する (1G=1000MiB)
df -h	見やすい単位で表示する (1G=1024MB)
df -i	容量ではなくiノードの使用状況を表示する
du -c \$HOME	ホームディレクトリ以下の各ディレクトリの容量および合計を表示する
du -m ~/src	~/srcディレクトリ内のファイルし容量をMB単位で表示する
# du -s /*	/ディレクトリ直下の各ディレクトリのファイル使用量を表示する
# eject	デフォルトの光学ドライブをイジェクトする
# eject -t	光学ドライブのトレイを収納する
# fsck -y /dev/sda1	/dev/sda1のファイルシステムをチェックし、自動的に修復する
# mke2fs -t ext4 /dev/sda5	/dev/sda5にext4ファイルシステムを作成する
mount	マウントされているファイルシステムを表示する
# mount /dev/sda5 /home	/dev/sda5を/homeディレクトリとしてマウントする
# mount -o loop cdrom.iso /mnt/cdrom	cdrom.isoイメージファイルを/mnt/cdromにマウントする
# umount /media/cdrom	/media/cdromをアンマウントする
パッケージ管理コマンド (CentOS)	説明
rpm -qa	インストール済みの全パッケージ名を表示する
rpm -q httpd	httpdパッケージがインストールされているか確認する
rpm -qi httpd	httpdパッケージの情報を表示する
rpm -ql httpd	httpdパッケージからインストールされたファイルを表示する
# rpm -ivh httpd-2.4.6-45.el7.centos.x86_64.rpm	httpdパッケージをインストールする
# rpm -Fvh httpd-2.4.6-45.el7.centos.x86_64.rpm	httpdパッケージをアップデートする
# rpm -e httpd	httpdパッケージをアンインストールする
yum info nginx	nginxパッケージの情報を表示する
yum search nginx	パッケージ名に「nginx」が含まれるパッケージをリポジトリから検索する
# yum check-update	アップデート可能なパッケージをリストアップする
# yum update	すべてのパッケージをアップデートする
# yum update nginx	nginxパッケージをアップデートする
# yum install nginx	nginxパッケージをインストールする
# yum remove nginx	nginxパッケージをアンインストールする
yum list	リポジトリ上のすべてのパッケージをリスト表示する
yum groups list	パッケージグループをリスト表示する
# yum groupinstall "GNOME Desktop Environment"	「GNOME Desktop Environment」パッケージグループをインストールする
yumdownloader nginx	httpdパッケージをダウンロードする
パッケージ管理コマンド (Ubuntu)	説明
dpkg -l	インストール済みの全パッケージ名を表示する
dpkg -s apache2	apache2パッケージの情報を表示する
dpkg -L apache2	apache2パッケージからインストールされたファイルを表示する
# dpkg -i apache2	apache2パッケージをインストール・アップデートする
# dpkg -r apache2	apache2パッケージをアンインストールする
# dpkg -P apache2	apache2パッケージを完全にアンインストールする
apt show nginx	nginxパッケージの情報を表示する
apt search nginx	パッケージ名に「nginx」が含まれるパッケージをリポジトリから検索する
apt list --upgradable	アップデート可能なパッケージをリストアップする
# apt update	パッケージ情報を更新する
# apt upgrade	すべてのパッケージをアップデートする
# apt upgrade nginx	nginxパッケージをアップデートする
# apt install nginx	nginxパッケージをインストールする
# apt remove nginx	nginxパッケージをアンインストールする
# apt purge nginx	nginxパッケージを完全にアンインストールする
apt list	リポジトリ上のすべてのパッケージをリスト表示する